

令和4年度 下川淵公民館運営推進委員会 第2回会議

日時 令和5年3月3日(金)

午前10時から

会場 下川淵公民館 会議室

次 第

1 開会

2 あいさつ 中島 館長

3 議事 進行：永井 委員長

(1) 令和4年度下川淵公民館実施主催事業について

*渡根木、石井、金井、石田、中島の順でそれぞれの担当事業について説明
担当ごとに質問・コメント等を受ける

(2) その他

4 閉会

下川淵公民館運営推進委員名簿

令和4年7月1日現在

1 学校教育の関係者

No.	氏名	役職名	委嘱期間
1	関口 一男	前橋市立第七中学校長	R4. 7. 1～R5. 6. 30
2	高橋 志保	前橋市立下川淵小学校長	R4. 7. 1～R5. 6. 30

2 社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、学識経験のある者

No.	氏名	役職名	委嘱期間
3	永井 敏夫	下川淵地区自治会連合会長	R4. 7. 1～R5. 6. 30
4	新井 芳久	下川淵地区青少年健全育成会長	R4. 7. 1～R5. 6. 30
5	清水 悦夫	下川淵地区社会福祉協議会長	R4. 7. 1～R5. 6. 30
6	久保田 光明	下川淵地区民生児童委員協議会長	R3. 7. 1～R5. 6. 30
7	石原 久之	下川淵地区老人クラブ連合会長	R4. 7. 1～R5. 6. 30
8	羽鳥 等	下川淵地区生涯学習奨励員連絡協議会長	R4. 7. 1～R5. 6. 30
9	金井 俊夫	下川淵公民館自主グループ連絡協議会長	R3. 7. 1～R5. 6. 30
10	加藤 益代	下川淵地区保健推進員会長	R3. 7. 1～R5. 6. 30

任期（委嘱期間） 令和3年7月1日～令和5年6月30日

※ただし、選出団体の任期終了により役員の改選が行われた場合には、その者の残任期間を委嘱期間とする。

令和4年度 下川淵公民館主催事業

1 子育て親子支援事業 担当:渡根木

バランスボールエクササイズ&おしゃべりママサロン

(1) ねらい

- ①コロナ禍において、集う機会が減っている同年代の子を持つ保護者同士の交流を促し、地域社会での仲間づくりのきっかけを作る。
- ②閉鎖的な空間で子育て中の保護者が心身ともにリフレッシュし、自らのキャリアについて考える機会とする。
- ③地域の方に講師を依頼し、地域人材の育成と地域住民との交流を図る。

(2) 対象等

対象：第一回・第二回 2か月～8か月未満の子と母親
第三回 2か月～8か月未満の子と父母

周知方法：地区内へのチラシ回覧、館報、市ホームページ

(3) 内容

回	配信日	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	6/22 (水) 10:00～12:00	バランスボールエクササイズ (60分) おしゃべりママサロン (60分)	実習	上州 mamato 峰岸 圭衣	4組 8人
2	6/29 (水) 10:00～12:00				4組 8人
3	7/9 (土) 10:00～12:00				3組 9人

(4) 評価と反省

参加者が全員下川淵地区出身・在住であり、月齢も2ヶ月～6か月と近いことから、最初は緊張していた様子の参加者も、回数を重ねるごとに次第にリラックスすることができ、終盤には和気あいあいと会話を楽しむ様子も見受けられた。

前半のバランスボールエクササイズでは、体を動かすことに慣れていないことや、バランスボールそのものに慣れていないことから、あまり思うように運動できない参加者もいたが、久々に汗をかくことができうれしかったという意見があった。二回目、三回目となると、バランスボールに乗りながら子どもをあやすなど、親子参加型の講座へ順応してきた様子がうかがえた。後半のおしゃべりママサロンは、「人生」「仕事」「パートナーシップ」というテーマから一つ選択し、子供ではなく自分を主語にして話すという体験をすることで、

日ごろ育児に追われて自分のことについて考えたり言語化したりする機会が少ない保護者が自分自身と向き合う貴重な機会を創出できたと感じる。

第三回の講座では、前回までの講座で行ったことと同じ内容を夫婦でそろって行うという内容で実施した。最初は初参加の父親は緊張していたが、体を動かすうちに緊張もほぐれ、後半のおしゃべりママサロンもスムーズに進行した。

講座終了後には、父親同士の交流もあり、自然発生的に講座参加者同士のLINEグループを作る流れも見受けられたため、なかなか知り合うことのできない子育て世代の地域の輪を広げるきっかけになったと感じている。どうしても対象の年齢が限られてしまう性質がある内容の講座だが、今後も定期的に保護者同士のつながりを創出できる機会を設けたいと思う。



バランスボールエクササイズの様子



おしゃべりママサロンの様子

下川淵地区民生委員児童委員協議会タブレット研修

(1) ねらい

- ①下川淵地区の民生委員児童委員協議会（以下民児協）が、対面のみによらない、地域とのつながり・支援を増進するための技術を習得する。
- ②高齢化の進む地区民児協のデジタルデバイドを解消する。
- ③地区民児協との連携を図り、地区の子育て親子支援事業の協力体制を構築する。

(2) 対象等

対象：下川淵地区民生委員児童委員協議会

周知方法：地区内へのチラシ回覧、館報、市ホームページ、

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	8/1（月） 13:30～15:30	タブレット研修	実習	下川淵公民館職員 渡根木 優子	5

2	8/9 (火) 13:30~15:30		実習		8
3	8/17 (水) 13:30~15:30		実習		10
4	8/18 (木) 13:30~15:30		実習		7

(4) 評価と反省

地区民生委員児童委員協議会（以下民児協）の会長からの依頼で、各町の民生委員児童委員に配布しているタブレットの基本的な使用方法を教えてほしいとのことで今回の事業を実施した。昨年度末に民児協でタブレットを購入した際、初期設定等の助言を行ったことから今回の支援につながったものである。民児協の構成員は50代以上の方が多く、タブレットの操作等には不慣れなことから、初歩的な操作方法等を教示することで、タブレットそのものに慣れてもらい、ゆくゆくは実際の民児協の活動に役立ててもらおうことで地区の子育て支援体制が強化されることを期待している。

地区民児協は12月から新体制となるため、新たに民生委員児童委員になる人については、今年度中に改めて研修を実施する。民児協の定例会をオンラインで実施したり、資料の確認をタブレット上で行ったりできるような土台を構築できるよう、引き続ききめ細やかなフォローが求められることと思うが、その都度各民生委員児童委員の実情に合わせて対応していきたい。

つくろう！あそぼう！バルーンアート

(1) ねらい

- ① コロナ禍において、集う機会が減っている同年代の子を持つ保護者同士の交流を促し、地域社会での仲間づくりのきっかけを作る。
- ② 親子で一緒にものづくり体験をすることによって、親子のコミュニケーションを深める機会とする。

(2) 対象等

対象：未就学児親子 10組

周知方法：地区内へのチラシ回覧、館報、市ホームページ

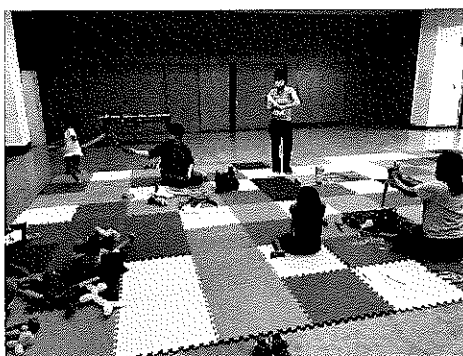
(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
1	8/7 (日) 10:00~11:30	バルーンアート作り	実習	それいけ！まえばし 出前講座 講師 新井 弘子	5組 11人

(4) 評価と反省

体調不良のため大事をとって欠席した親子が多く、少人数での実施となったため、講師がきめ細やかに目を配ることができ、それぞれの質問等にも熱心に対応していた。

どの親子も子どもの自主性を尊重し、なるべく自分でやりたいという子どもの希望を叶えるべく、極力手を出さずに自分でやらせてあげていた光景が印象的であった。当初の予定より講座の実施時間が延長となったが、参加者は皆満足そうで、講座の最後には、講師が見本として持ってきた様々なバルーンをお土産として持って帰る笑顔の子どもたちの姿を見ることができた。アンケート中では親子で一緒にできる体験、家でもできる遊び、を求める声もあったため、今後の講座企画の際にはこれらの生の声を参考にしていきたい。



バルーンアート作りの様子



お土産のバルーンアート

はじめてのヴァイオリン体験&ミニ音楽会

(1) ねらい

- ①日常生活でなじみの薄いヴァイオリンという楽器に直に触れることで、子どもの多様なものへの興味関心を引き出す。
- ②親子で体験を共有し、芸術を身近に感じるきっかけとする。
- ③地域の方に講師を依頼し、地域人材の育成と地域住民との交流を図る。

(2) 対象等

対象：3歳から中学3年生までの子と親 10組

周知方法：地区内へのチラシ回覧、館報、市ホームページ

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
---	-------	---------	------	--------------	----

1	8/7 (日) 14:00~16:00	・ヴァイオリン体験 ・ミニ音楽会	実習	山谷 美歌	7組 16人
---	------------------------	---------------------	----	-------	-----------

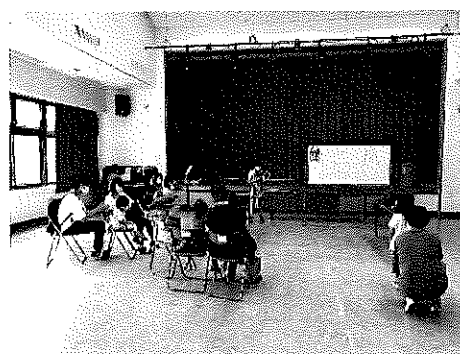
(4) 評価と反省

親子で体験できる講座の一環として、初めて楽器体験を行った。ミニ演奏では、参加者の年齢に合わせた手あそび歌の演奏があり、一緒に歌ったり手を動かしたりして空気をあたためたうえで、〇×クイズや演奏体験に移行することができ、子どもたちはのびのびと活動することができた。

未就学児は道具の扱い等に不慣れであるため、大人の助けが必要であったが、参加者同士声をかけあい、それぞれの子どもの取り組みを見守るというほほえましい光景もあり、終盤では保護者もヴァイオリンを弾いてみる時間もあり、子どもと一緒に夢中になって演奏に没頭している様子も見られた。親子共に新しい体験をできること、達成感を味わえることは子供の成長にも思い出作りにも一役買ったのではないかと考える。



親子でヴァイオリン体験



ミニ演奏会の様子

親子の絆づくりプログラム“赤ちゃんがきた！”「ベビープログラム(愛称:B P)

(1) ねらい

- ①親が安心して子どもを連れて学習ができる場を提供する。
- ②相談し合うことのできる仲間づくりを図る。
- ③親子のふれあいを深める。
- ④家庭の教育力向上のための一助とする。

(2) 対象等

対象：市内在住で2ヶ月から5か月の第一子（令和4年2月25日～令和4年6月24日生）とその母親 10組

周知方法：地区内（下川淵・上川淵・東）へのチラシ回覧、館報、市ホームページ

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
1	8/24 (水) 10:00~12:00	新しい出会い ・お互いを知り合う ・お互いの関心事を知る ・他のママの育児から学ぶ	講義 実習	前橋市子育て支援課 BPファシリテーター	10組 20人
2	8/31 (水) 10:00~12:00	赤ちゃんのいる生活 ・大人だけの生活と赤ちゃんのいる生活 ・赤ちゃんの生活リズム ・赤ちゃんに必要な環境を整える	講義 実習		10組 20人
3	9/7 (水) 10:00~12:00	赤ちゃんとの接し方 ・「泣く」ことの意味 ・遊びと心の発達 ・身体の発達と事故予防	講義 実習		10組 20人
4	9/14 (水) 10:00~12:00	親になること ・私の今の心の状態を考える ・パートナーや周囲の人の力を借りる ・自分も大切に赤ちゃんも大切に	講義 実習		10組 20人

(4) 評価と反省

過去2年間は新型コロナウイルスの感染拡大により事業そのものが実施できず、BPとしては3年ぶりの開催となった。参加者は保健師による訪問の際に本事業を知った人が多く、清里公民館で行われたBPの先着から漏れてしまった人による申し込みが多かったため、元総社地区や総社地区の参加者が多かった。最初は緊張していた人が多く、グループワークの際にもなかなか会話が弾まない部分もあったが、全4回の講座を通して、母子ともにリラックスしていく様子が目に見えてわかり、連続講座の重要性を感じた。

全4回にわたる自己紹介、DVD視聴、グループワークを経て、参加者同士の仲が深まるとともに、初めて子育てする親の悩みを共有したり、アドバイスをもらえたりと有意義な時間が過ごせたようだった。BPファシリテーターによる本講座は講義ではなく、あくまで自分で考え、自分の言葉で話すものであり、子育てに追われる日々の中ではこのような機会を捻出することが難しいため、自分の今と向き合う貴重な経験になったのではないかと感じる。最終日

には参加者全員のLINEグループもでき、今後も積極的に交流を続けるきっかけになったようだった。



自己紹介



グループワークの様子

GO!GO!子育てサロン～親子で一緒に映画とよみきかせを楽しもう！～

(1) ねらい

- ①同年代の子どもを持つ保護者同士が集い、地域社会の仲間作りの場として交流する機会とする。
- ②地区子育てサロンとの連携実施による地域交流と子育てサロンの周知を図る。
- ③親子が周囲を気にすることなくのびのびと過ごせる環境を提供し、映画と読み聞かせ体験を楽しんでもらう。

(2) 対象等

対象：未就学児親子 10組

周知方法：地区内へのチラシ回覧、館報、市ホームページ

(3) 内容

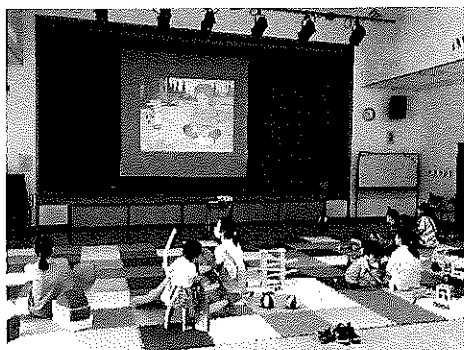
回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	8/25（木） 10:00～11:30	・DVD上映 ・絵本のよみきかせ	実習	おはなしの会もこもこ 下川淵地区子育てサロン	8組 17人

(4) 評価と反省

地区子育てサロンとの協働事業として本講座を開催した。市ホームページ等でも講座を周知したおかげで、参加者の多くは子育てサロン初参加であったため、地区内外の子育て中の方に広く子育てサロンの存在を周知することができた。また、普段和室で行っている子育てサロンを大きいホールで実施できたことで、子ども達はのびのびと過ごすことができた。

夏休み特別版の子育てサロンということで、通常の子育てサロンでは行

っていない大画面の映画上映を行ったが、音声にノイズが入ってしまい聞き
 苦しい部分もあったため、今後実施する際は音響チェックを入念に行う必要
 があると感じた。よみきかせは、日ごろから地区子育てサロンでよみきかせ
 を行っているおはなしの会もこもこという団体の協力を得ることができ、通
 常のよみきかせだけではなく手あそび歌の人形劇も実施してくれた。子ども
 達は、一緒に歌ったり、元気に質問に答えたりしながら楽しそうに聞き入っ
 ていた。



映画鑑賞の様子



よみきかせの様子

親子リトミック教室

(1) ねらい

- ①コロナ禍において、集う機会が減っている同年代の子を持つ保護者同士
 の交流を促し、地域社会での仲間づくりのきっかけを作る。
- ②親子が心身ともにリフレッシュする機会とする。
- ③音楽に合わせて体を動かすリトミックを体験することで、子どもの情操
 教育の一助とする。

(2) 対象等

対象：第一回 3歳～5歳までの子どもと保護者 10組

第二回 0歳～2歳までの子どもと保護者 10組

周知方法：地区内へのチラシ回覧、館報、市ホームページ

(3) 内容

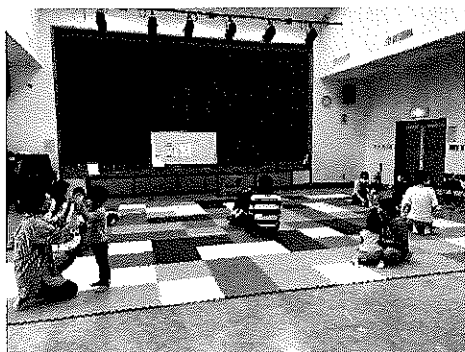
回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
1	9/23 (金) 10:30～11:30	親子リトミック	実習	山谷 美歌	9組 22人

2	9/29 (木) 10:30~11:30	親子リトミック	実習	山谷 美歌	8組 17人
---	-------------------------	---------	----	-------	-----------

(4) 評価と反省

昨年度実施し好評だった親子リトミック教室を、今年度は地区在住の講師に依頼し、対象年齢別に回を分けて実施した。

子どもたちがのびのびと体を動かせるよう、ホールにジョイントマットを敷き詰めた。親子の数もちょうどよく、密になりすぎない環境で子ども達が初めて出会うおともだちと交流する様子も見られた。親子で一緒に体を動かしたり、歌ったりする場面が多かったが、今回参加した子どもたちは集中力が高く、講師の話したことをすぐに真似したり、元気に質問に答えたりして、終始楽しそうな雰囲気が伝わってきた。保護者からも、なかなか体を動かす機会がないのでうれしいとの声があった。体を動かすだけではなく、歌に合わせて記憶を鍛える遊びをしたり、やきいもやさんごっこをして想像力を伸ばす遊びをしたり、本物の秋の味覚に触れて肌で季節を感じたりと様々な面で子ども達の情操教育に役立つ内容だったと感じる。



リズムに合わせてハイタッチ



やきいもごっこの様子

親子で一緒に！子育てママのためのリフレッシュエアロ&ストレッチ

(1) ねらい

- ①コロナ禍において、集う機会が減っている同年代の子を持つ保護者同士の交流を促し、地域社会での仲間づくりのきっかけを作る。
- ②閉鎖的な空間で子育て中の保護者が心身ともにリフレッシュする機会とする。
- ③地区子育てサロンとの連携を図り、地区の子育て支援体制の強化を図る。

(2) 対象等

対象：子育て中の保護者

周知方法：地区内へのチラシ回覧、館報

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	10/27（木） 10:00～11:30	・リフレッシュエアロ ・ストレッチと筋トレ	実習	桑原 一美 下川淵地区子育てサ ロン	9組 19人

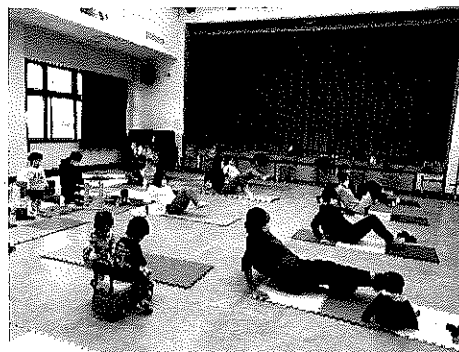
(4) 評価と反省

地区子育てサロン協力のもと、子育て中の母親を対象とした運動系の講座を行った。講師が親と子どもの状況に応じて、一人でも親子でも行うことができるプログラムを構成してくれたため、0歳から3歳までの様々な年齢の子どもを持つ親が参加し、のびのびと体を動かすことが出来たようだった。最初は会場に入ることを渋っていた子供も会場内に準備された子育てサロンのおもちゃを見て目を輝かせ、スタッフと一緒に楽しく遊んでいたため、改めて見守りの重要性を実感した。前もって、子どもが騒いでもお互い様であるということを中心に前面に出して募集をかけたため、当日は子どもがホールを走り回る中でのにぎやかな講座となったが、参加者は皆リラックスして楽しめたようだった。

講座参加者は9人で、申し込み直後に定員が埋まってしまったような状況だったため、育児中の母親が子供と一緒に気軽に出かけられる気分転換の場所の必要性を痛感した。会場の広さを考えると定員数を拡大することもできるが、子どもの数が多くなった時のスタッフの見守り体制を再検討する必要があるため、さまざまなメリットデメリットを考慮しつつ、次回以降の講座実施の際に反省を生かしたい。



親子でエアロスタート



ストレッチの様子

クリスマスメモクリップオーナメント作り

(1) ねらい

- ①四季に合わせた行事を体験することで子どもの情操の発達を支援し、子どもが自分で考える力を育てる。
- ②子どもの成長に必要な活動を保護者とふれあいながら楽しく行い、親子の絆を深める。
- ③地域の方に講師を依頼し、地域人材の育成と交流を図る。

(2) 対象等

対象：5歳～小学6年生までの親子

周知方法：地区内へのチラシ回覧、館報、市ホームページ

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	12/10(土) 10:00～12:00	クリスマスメモクリップ オーナメント作り	実習	中澤 輝子	4組 9人

(4) 評価と反省

参加者に対して、事前に作成したいオーナメントの種類を聞き取り、講師が事前に材料をあらかじめ準備しておいてくれたおかげで、限られた時間の中でスムーズに作品作りに取り組むことができた。参加した親子はみな工作に興味関心が高く、親子で一緒にオーナメント作りに熱中する様子が見られた。また、保護者は子どもの自主性を尊重し、できるだけ子ども自身に作業をさせていたため、保護者が子どもの様子に目を配れるよう親子での講座としたことは意義があったと感じる。

習い事や保護者の都合により、参加したいが日程が合わないという声もあったため、小さな規模であっても、定期的に親子が参加できるようなモノづくり体験の機会を創出していきたいと思う。



親子で一緒に取り組む様子



子どもの作業を見守る様子

子育てサロンでクリスマス

(1) ねらい

- ①同年代の子どもを持つ保護者同士が集い、地域社会の仲間作りの場として交流する機会とする。
- ②地区子育てサロンとの連携実施による地域交流を図る。
- ③地区子育てサロンの周知・利用者増加を目指すとともに、公民館が主催する子育て親子支援事業の参加者層のニーズを把握し、適切な子育て親子支援を提供するための情報を収集する。

(2) 対象等

対象：未就園児親子

周知方法：地区内へのチラシ回覧、館報

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	12/22(木) 10:00~11:00	・人形劇 ・プレゼント ・記念撮影	実習	民生委員児童委員協議会(下川淵子育てサロン) おはなしの会もこもこ	10組 24人
2	12/22(木) 11:00~12:00	・人形劇 ・プレゼント ・記念撮影	実習	民生委員児童委員協議会(下川淵子育てサロン) おはなしの会もこもこ	8組 17人

(4) 評価と反省

例年、下川淵地区子育てサロンが開催しているクリスマス会で、昨年度に引き続き今年度も新型コロナウイルス感染予防の観点から、場所を広く使い、換気を徹底したうえで人数を限定した完全予約制という形を取り開催することになった。参加者の情報を把握する必要があることから、今年度も公民館が後援し、子育て親子支援事業として実施協力した。

ホールにジョイントマットを敷いて実施し、回数も2回に分けて行ったため、それぞれの親子がのびのびとクリスマス会を楽しむことができたようだった。実際の企画や運営は子育てサロンが担当し、公民館は参加者募集や会場設営、音響等の支援を行うに留まったが、地区団体とのかかわりを創出し、一体となって行事を運営することで、今後の公民館が主催する子育て親子支援

事業への協力体制を構築することができたと感じる。継続的に事業を実施することで、地区内の子育ての輪が広がっていくと感じたため、今後も感染防止対策を実施したうえでさまざまな事業を実施していけると良いと思う。



人形劇を楽しむ様子



サンタさんからプレゼント

下川淵親子すくすく教室

(1) ねらい

- ①同年代の子どもを持つ保護者同士が集い、地域社会の仲間作りの場として交流する機会とする。
- ②親子で一緒に身体を動かし、子どもの特性に向き合う。
- ③生活の中に手軽にできる運動を取り入れることで、健康を増進する。

(2) 対象等

対象：一歳未満の子と保護者 8組

周知方法：地区内へのチラシ回覧、館報、市ホームページ

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	2/1(水) 10:00~11:30	きらきら笑顔で親子遊び	実習	それいけ!まえばし 出前講座	8組 17人
2	2/8(水) 10:00~11:30	親子のワクワク体操	実習	神尾 直子	6組 12人

3	2/16 (木) 10:00~11:30	抱っこひもエクササイズ	実習	桑原 一美	7組 15人
---	-------------------------	-------------	----	-------	-----------

(4) 評価と反省

寒い季節の講座実施となったが、申し込みのあった親子は全員参加し、本講座に対する意欲の高さが伺えた。第一回目は親子一对一のふれあい遊びから始まり、歌に合わせての自己紹介の時間も設けられていたので、子どもの遊びを通して保護者同士が交流するきっかけも生まれた。第二回目は子どものための手遊び歌だけではなく、講師が持参したフレックスクッションを用いた、母親のストレッチや筋トレ、リフレッシュのためのダンス等を行った。第三回目は参加者が体を動かすことへの抵抗感がなくなっていたため、スムーズに音楽に合わせて全身運動を行うことができた。赤ちゃんを抱っこした状態でのエクササイズとなるため、子どもの体重によってはかなり体に負荷がかかるものになったが、参加者はみな楽しそうに音楽に乗って動いていた。

講座終了後には講師から自分の子育て時の話や、参加者同士の交流などもあり、地域の交流の輪が広がるきっかけができた。少しずつテーマを変えつつ、同じ参加者同士で行う連続講座の意義があったと感じるので、今後も、対象の年齢やテーマを考慮しつつ、様々な保護者・親子が学びと交流の機会を得ることができるような講座を企画したい。



親子遊びの様子



抱っこでエクササイズの様子

香りでリフレッシュ！手作りハンドクリーム作り

(1) ねらい

- ①同年代の子どもを持つ保護者同士が集い、地域社会の仲間作りの場として交流する機会とする。
- ②閉鎖的な空間で子育て中の保護者が心身ともにリフレッシュする機会と

する。

③地区子育てサロンとの連携を図り、地区の子育て支援体制の強化を図る。

(2) 対象等

対象：子育て中の保護者 8組

周知方法：地区内へのチラシ回覧、館報、市ホームページ

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	3/9(木) 10:00~11:30	手作りハンドクリーム作り	実習	アロマストーリー (生活の木ハーブギ ャラリー前橋)	9組 17人

(4) 評価と反省

後日実施予定。

2 青少年体験・チャレンジ活動

下川淵子ども体験教室【夏休み】 担当:石井

(1) ねらい

- ①講座を通して、小学生が公民館に集う機会とすること。
- ②地域の人材を活用し、知識の地域還元を図ること。
- ③学校教育を補完する形で、地域で子どもたちの学習支援を行い、教員の負担軽減の一助とすること。

(2) 対象等

対象：夏の夜のお話会 未就学児及び小学生20人とその保護者

みんなで描こう！絵画教室 小学1年生～2年生10名

みんなで描こう！絵画教室 小学3年生～6年生10名

書いてみよう！読書感想文教室 小学3年生～6年生15名

やさしいプログラミング教室 小学生15名

周知方法：館内掲示・近隣小学校へのチラシ配信、近隣保育所、幼稚園へのチラシ配布

(3) 内容

夏の夜のお話会

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
1	7/23 (土) 19:00～20:30	夜お話会と公民館探検	鑑賞	もっちー夢空間 高校生ボランティア 2人	19

みんなで描こう！絵画教室 (小学1年生～2年生)

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
1	7/30 (土) 9:00～12:00	みんなで夏休みの宿題の絵を描く「絵画教室」	実演 実習	岡本 美由貴	11

みんなで描こう！絵画教室 (小学3～6年生)

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
1	7/31 (日) 9:00～12:00	みんなで夏休みの宿題の絵を描く「絵画教室」	実演 実習	岡本 美由貴	11

書いてみよう！読書感想文教室

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
1	8/6 (土) 10:00～11:30	みんなで宿題の読書感想文を書く「読書感想文教室」	講義 実習	清水 誠	11

やさしいプログラミング教室

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	8/8（月） 10:00～12:00	プログラミングソフトを操作してゲームを作成する「プログラミング教室」	講義 実習	特定非営利活動法人 教育支援協会北関東	10
2	8/9（火） 10:00～12:00				10

（４）評価と反省

夏の夜のお話会（未就学児及び小学生とその保護者）

ちょっと不思議なお話を中心に、ミニミニ人形劇、読み聞かせ、紙芝居、リズム遊びなど、次から次にお話が繰り広げられ、子どもたちは熱心に聞き入っていた。夜の時間帯にみんなでお話を聞くことは、日常とはちょっと違う感覚があり、子どもたちにとって特別な体験になったようだった。お話会のあと、懐中電灯をもって真っ暗な公民館の中を探検することも、夜ならではの体験となった。高校生ボランティア2人のサポートにより、安全に実施することができたのは良かった。

みんなで描こう！絵画教室（小学1年生～2年生）

コロナに対する警戒度が2で、新型コロナウイルス感染症の新規患者数が増えてきている状況の中ではあったが、感染防止対策を講じながら実施した。

子どもたちは、熱心に集中して取り組むことができた。わからないところを講師にききながら、順調に描くことが出来ていたようだった。家庭や学校とは違う環境で集中する機会が持てて良かったと感じた。

みんなで描こう！絵画教室（小学3～6年生）

子どもたちは、熱心に集中して取り組むことができた。講師がアドバイスをしてまわっていたので、順調に描くことが出来ていたようだった。早く終わった子もいたが、それぞれきちんと待っていることができ、落ち着いて過ごせていた。細部までこだわって描いている子は、時間中に描き終わることが出来なかったの、残りは家で仕上げてもらおうこととなった。家庭や学校とは違う環境のなかで、集中して絵を描く良い体験となったようだった。

書いてみよう！読書感想文教室

昨年度、同教室に参加し、今年度も参加した子が7人いた。昨年度は、講師と協力者3名での指導だったが、今年度は、講師1名での指導となった。しかし、講師が熱心に指導してくれたこともあり、子どもたちは、集中して取り組むことができた。積極的に講師とコミュニケーションをとる様子も多くみら

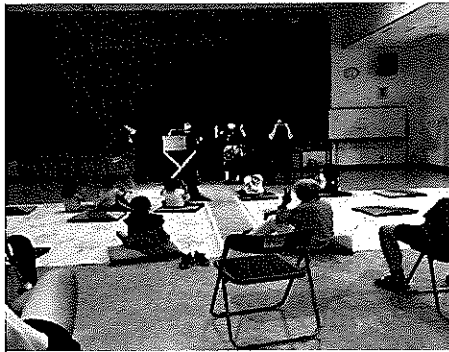
れた。

やさしいプログラミング教室（2日間連続）

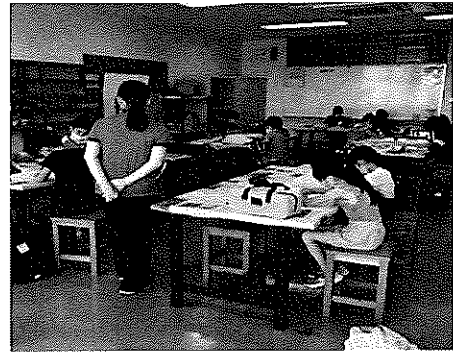
この講座は、2日間の連続講座として開催した。子どもたちは、分からないところを講師にききながら、熱心に取り組むことができた。やったことのある子は、ちょっと高度な使い方もできていて、プロジェクターにより、スクリーンをとおしてやり方を発表し、子ども達の間で情報共有することが出来た。

途中での保存がうまくいかず、データが戻ってしまった子もいたが、粘り強く、もう一度取り組むことができ、全員が自分のゲームをつくることができた。

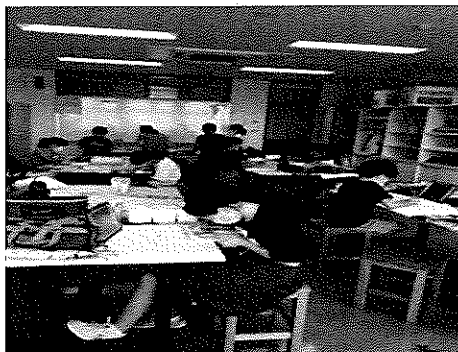
プレゼンテーションタイムで、各自、出来上がったゲームをプロジェクターでスクリーンに映し出し、満足した様子で説明している姿が印象的だった。



夏の夜のお話会の様子



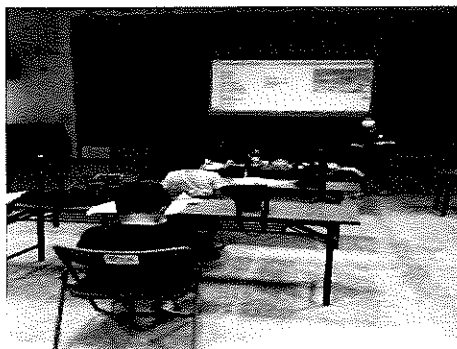
絵画教室（1～2年生）の様子



絵画教室（3～6年生）の様子



読書感想文教室の様子



やさしいプログラミング教室の様子

下川淵子ども体験教室 みんなで社会科見学

ふわっふわなどら焼きの秘密！

「なか又パワーモール前橋みなみ店」見学 担当：石井

(1) ねらい

- ①地域にある施設を見学し、直接話を聞く機会とすること。
- ②地域を知ることにより地元への愛着を持つこと。
- ③見学を通して職業について考えるきっかけとすること。

(2) 対象等

対象：小学生と保護者 8組16人

周知方法：館報掲載、館内掲示、小学校へのチラシ配信

(3) 内容

ふわっふわなどら焼きの秘密！「なか又パワーモール前橋みなみ店」見学

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	11/19(土) 10:00~10:40	なか又パワーモール前橋みなみ店の社会科見学	見学	和む菓子 なか又パワーモール前橋みなみ店スタッフ	9組 19人

(4) 評価と反省

地域にある施設を見学し、直接話を聞く機会をつくることで、地域を知り、愛着を持つきっかけとしたり、職業について考えるきっかけとなるよう、「なか又パワーモール前橋みなみ店」の見学を実施した。今回は親子での参加と現地集合、現地解散での開催としたが、スムーズに実施できた。

見学後、質疑応答を行った際、様々な質問があったが、講師には丁寧に答えてもらい、参加者は有意義な時間をすごせた様子だった。



「社会科見学」の様子

下川淵子ども体験教室

高校生ボランティアによる「クリスマスのお話会」担当:石井

(1) 高校生対象部分のねらい

- ①高校生のボランティア体験の機会とすること。
- ②高校生が読み聞かせの体験をとおして豊かな感性、想像力及び協調性を養うこと。
- ③読み聞かせのやり方やコツを知る機会とすること。
- ④高校生が公民館に集う機会とすること。
- ⑤地域の人材を活用し、知識の還元を図ること。

(2) お話会参加者についてのねらい

- ①読み聞かせを聞く体験を通して、集中力や共感力を高め、豊かな感性、想像力を養うこと。
- ②子どもが公民館に集う機会とすること。
- ③ボランティアについて考える機会とすること。

(3) 高校生対象部分に係る対象等

対象：高校生5人

周知方法：館内掲示・前橋市高校生学習室掲示、近隣高校へのチラシ配布

(4) お話会参加者に係る対象等

対象：小学生以下とその家族40人

周知方法：館報掲載、館内掲示、近隣小学校へのチラシ配信、近隣幼稚園・保育所へのチラシ配布

(5) 内容

高校生ボランティアによる「クリスマスのお話会」高校生対象部分

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	12/4(日) 13:00~14:30	準備日 絵本の読み聞かせによるお話会を講師指導のもと実施する	講習 実習	もっちー夢空間	3人
2	12/10(土) 13:00~14:30	準備日 絵本の読み聞かせによるお話会を講師指導のもと実施する	実習	もっちー夢空間	3人
3	12/24(土) 9:30~11:45	お話会 絵本の読み聞かせによるお話会を講師指導のもと実施する	実演	もっちー夢空間	5人

高校生ボランティアによる「クリスマスのお話会」お話会参加者

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	12/24（土） 10:30～11:30	高校生ボランティアによる 「クリスマスのお話会」 プレゼント交換会	鑑賞	もっちー夢空間 高校生ボランティア 5人	19人

（6）評価と反省

高校生対象部分

高校生がボランティア体験をする機会として、絵本の読み聞かせによるお話会を講師指導のもと実施した。

準備日を2回設け、講師から読み聞かせに係る講義と実技指導を受けた。

自分が楽しく読むことが大前提だが、テクニックとして、入場・退場の仕方、絵本の持ち方・めくり方、絵をしっかりと見せること、会話の部分は会話と分かるよう読むこと、ゆっくり読むこと等、講師からそれぞれアドバイスを受け、練習を行った。

講師からアドバイスを受けた後の高校生は、みな見違えるほど読み方が変わり、吸収力の素晴らしさを感じた。

お話会当日、高校生は一人ずつ前に出て、緊張しながらもしっかりとよむことができとても頼もしく感じた。また、途中の手遊びも全員で堂々で行うことが出来、参加した子どもたちも楽しそうにしていた。

高校生は、会場作り、受付、読み聞かせ、プレゼント交換会、片付け等を全員が協力し積極的に行うことが出来、とても立派だった。

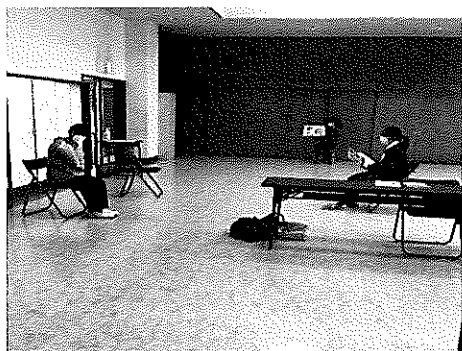
お話会参加者

お話会に参加した子どもたちは、高校生の読み聞かせを熱心にきくことが出来た。

クリスマスのお話、冬のお話と次から次に繰り広げられるお話や途中の手遊び、講師が腹話術で盛り上げながら進行等、お話会は、とてもスムーズで楽しいものとなった。

お話の後は、高校生の運営によるプレゼント交換会で、クリスマス気分を楽しんだ。

年齢の近い高校生によるお話会ということで、子どもたちも高校生も楽しい時間をすごせたようで良い交流になったようだ。



準備日での練習の様子



お話し会当日の様子

「前橋南高校クリスマスコンサート」担当:中島

(1) ねらい

- ① 前橋南高校生徒の主体性と自主性を尊重したイベントを開催することにより、公民館活動や地域貢献に対する関心や参加意欲を高める。
- ② 地域にある高校の生徒の演奏会を通じて、子どもから年配の方までが公民館に集まり、楽しむことで地域づくりの一助とする。

(2) 対象等 (出演者) 前橋南高校生、(観客) 地区住民等

周知方法：館報掲載、回覧、チラシ、ホームページ

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
1	12/25 (日) 1回目 13:30～ 2回目 14:45～	クリスマスコンサート	企画 演奏	前橋南高校 吹奏楽部 26名 顧問 1名 副顧問 2名	観客 86

(4) 評価と反省

高校生のチャレンジ活動として、企画、選曲、パンフレット作成、会場準備、司会進行など高校生の自主性に任せて実施した。コロナ禍の中、公演を2回に分けるなど工夫をしながら行った。自主ループ連協本部役員にも運営の支援をいただいた。

色々な活動が制限される中、十分対策を取りながらも対面でのコンサートを行うことができ、地域の方からも喜んでいただけて高校生たちも嬉しく感じていた。今後も冬のコンサートに限らず、機会をとらえて前橋南高校生と地域の交流活動を進めていきたい。



高校生の司会進行の様子



高校生が作成したプログラムと
観客への手書きのメッセージカード

下川淵子ども体験教室

春の「和菓子づくり体験」担当:石井

(1) ねらい

- ①昨今減少傾向にある「体験・チャレンジ活動」の場を提供すること。
- ②次代を担う子どもたちの好奇心や創作心・生きる力を養うこと。
- ③講座をとおして小学生が公民館に集う機会とすること。
- ④購入するものと思われがちな和菓子を自分で作る体験をとおしてチャレンジ精神を養うこと。

(2) 対象等 小学生とその保護者 4組8人を2回

周知方法：館報掲載、館内掲示、近隣小学校にチラシ配信

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	3/4(土) 9:00~10:30	和菓子作り メニュー「フルーツ大福」	実習	笹木 京子	
2	3/4(土) 10:30~12:00				

(4) 評価と反省

実施前のため省略

3 生涯学習奨励員活動支援 担当:金井

(1) ねらい

- ①生涯学習奨励員が、地域での生涯学習活動を進め、そして地域住民の学習要求を的確にとらえ、事業に反映できるよう知識等の向上を図る。
- ②生涯学習活動に不可欠な自治会との連携及び協調関係を深める。

(2) 対象等

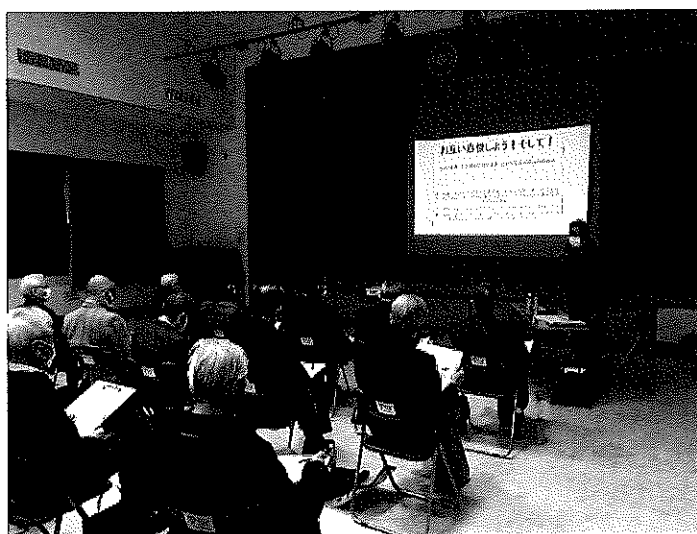
下川淵地区生涯学習奨励員及び自治会長

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	2/21(火) 19:00~21:00	自治会長及び生涯学習奨励員 合同研修会	講 義 意見交換	前下川淵地区自治会連 合会会長 笹岡 好和	25

(4) 評価と反省

例年の研修では、市外研修と座学講習を行っている。昨年度に続き、新型コロナウイルスの感染拡大の影響等の理由により市外研修を見合わせた。座学講習については、自治会との関わり方がわからないという奨励員や、その反対に、奨励員が何をしているかがわからないという自治会長の声があったことから、互いの意見交換を主とする研修を開催した。今回の研修をきっかけに、奨励員を自治会の役員会や各種行事の実行委員会へ参加させよう、各町の広報活動を活性化させようといった意見が多く出され、当初の目的に沿った意義のある研修ができた。



4 自主学習グループ支援 担当:渡根木

下川淵囲碁体験サロン

(1) ねらい

- ①下川淵公民館を利用する地域住民の交流機会の創出。
- ②地域の学習拠点としての自主グループ化を目指した団体発足のきっかけ作り。

(2) 対象等

対象：地区住民

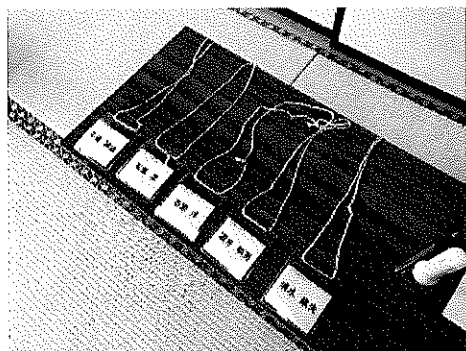
(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
1	5/27 (金) 13:00~17:00	囲碁体験	実習	なし	7
2	6/3 (金) 13:00~17:00				5

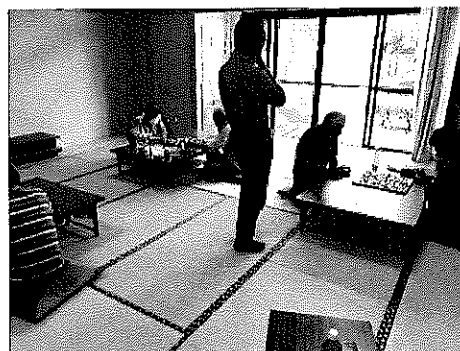
(4) 評価と反省

平成 28 年まで下川淵公民館で活動していた囲碁愛好会の復活を願う声があり、本事業を開催した。チラシの地区回覧や近隣公民館への配架をし、周知を行ったが、参加者は地区住民にとどまった。当初の参加予定者は5名の予定だったが、参加者が知り合いに連絡を取り、最終的に参加者は計7名となった。元々の顔見知りも多く、出入り自由としていたが終始和気あいあいとした雰囲気で行進し、ほとんどの参加者が閉会時間までさまざまな相手と囲碁を打つことを楽しんでいた。

残念ながら定期学習グループとしての活動継続には至らなかったが、地域住民の新たな交流の場を創出できたと感じた。



参加者用名札



対局中の様子

スマホ活用塾～SNS 入門(LINE 編)～

(1) ねらい

- ①下川淵公民館を利用して文化やスポーツ等の学習活動をしている自主グループの会員が、互いに学び合い交流を深める。
- ②会員がオンラインで活動成果を発表できる技術、グループ活動に有益な情報伝達技術を習得することで、地域の横のつながりを深める一助とする。
- ③下川淵公民館自主グループ連絡協議会が主体となって事業を実施することで団体の自主性を育む。

(2) 対象等

対象：下川淵公民館自主グループ会員

(3) 内容

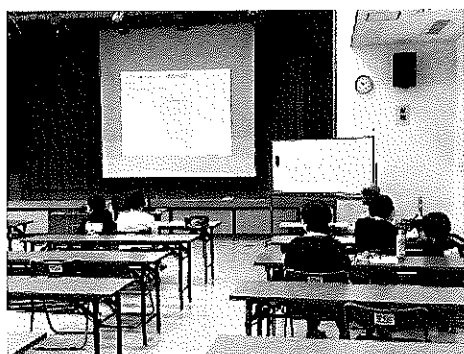
回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
1	6/27 (月) 10:00～12:00	LINE 講座 (初級編)	実習	NPO 法人 教育支援協会北関東	16
2	7/4 (月) 10:00～12:00				16
3	7/11 (月) 10:00～12:00	LINE 講座 (中級編)	実習		28

(4) 評価と反省

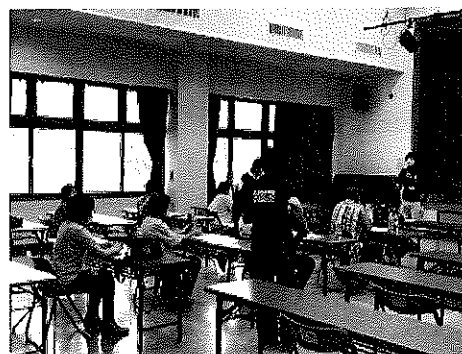
昨年に引き続き、NPO 教育支援協会北関東に講師を依頼し、自主グループ会員のデジタルディバイド解消のため LINE に特化した研修を行った。

実際の参加者は LINE を初めてインストールする人から日常的に LINE を使っている人まで様々だったが、5名の講師が個別に丁寧に研修を行ってくれたため、参加者の満足度も大変高いものとなった。日頃 LINE を使っている参加者にとっても、プロフィール設定やニュース画面、音声ファイル送信等なじみのない機能が多く、新鮮に講師の話に耳を傾けている姿が印象的だった。

研修後は、グループの活動の際に公民館職員が支援を行いながら、各グループの LINE 連絡網作成支援を行うことができた。



研修の様子



講師の見回り

参考:連協行事

回	月日	内容	参加者
1	4/23 (土)	総会兼代表者会議	役員・代表者
2	4/25 (月)	役員会議	役員
3	6/27 (月)	役員会議	役員
4	7/11 (月)	公民館除草①	役員・代表者
5	7/25 (月)	代表者会議	役員・代表者
6	7/25 (月)	公民館除草②	役員・代表者
7	8/8 (月)	公民館除草③	中止
8	8/22(月)	公民館除草④	中止
9	8/22(月)	役員会議	役員
10	9/7 (水)	代表者会議	役員・代表者
11	9/26 (月)	役員会議	役員
12	10/24 (月)	役員会議	役員
13	11/25 (金)	代表者会議	役員・代表者
14	11/28 (月)	役員会議	役員
15	12/19 (月)	公民館大掃除	代表者
16	1/23 (月)	役員会議 (予定)	役員
17	2/27 (月)	役員会議 (予定)	役員
18	3/27 (月)	役員会議 (予定)	役員

5 学びあい・人権・地域ふれあい

暮らしの学びあい講座「普通救命講習会」担当:石田

(1) ねらい

- ①傷病者の発生や災害などの不測の事態に備える。
- ②適切な応急手当の知識および技術を学ぶ。

(2) 対象等

対象：下川淵地区住民（中学生以上）

周知方法：公民館報掲載、地区内チラシ回覧

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	6/18（土） 13:30～16:30	応急手当の基礎知識に関する実技指導体験を伴う学習。 講習終了後、参加者に「普通救命講習修了証」を交付する。 ※平成25年度から継続して実施しているもの	講義・実習	前橋市消防局 南消防署 消防士 勝見拓弥 他	17

(4) 評価と反省

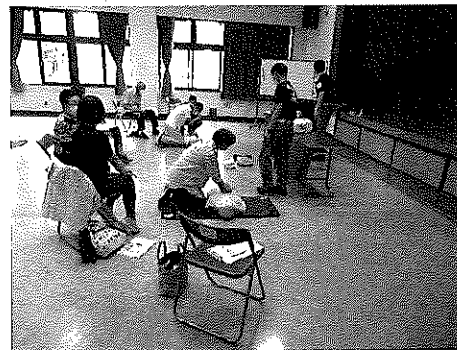
プロジェクターを使い、救命処置の流れについてわかりやすい説明を受けた後、参加者全員が、人形を使用して実技講習を行い胸骨圧迫や人工呼吸を体験することが出来ました。

後半は4班に分かれて、心肺蘇生法やAED使用の手順など、実際に救命措置の実技を行った。講座のまとめとして、全員が救命処置の流れ（心肺蘇生法とAED使用）について効果測定を行い無事終了することが出来ました。

いざというときの行動は、継続的な反復学習を通じて身につくものだと思うので、今後もこの講習会については、引き続き実施していこうと思う。



消防署員からのDVDを使った講義



4班に分かれて心肺蘇生の実技

暮らしの学びあい講座「火災予防講習会」担当：石田

(1) ねらい

- ①火災予防対策を学び、防災意識を高める。
- ②火災の初期消火を体験し、現場での対応力をつける。
- ③起震車を体験し、地震の際に身を守る術をつける。

(2) 対象等

対象：下川淵地区住民

周知方法：公民館報掲載、地区内チラシ回覧

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	9/10（土） 13:30～15:00	住宅の火災予防対策や地震や火災がおきた際の初期対応などを学ぶ。また、起震車を体験し有事の際の対応力をつける。	講義・実習	前橋市消防局 南消防署地域安全係 早川哲史 他 防災危機管理課 森山、狩野専門員	17

(4) 評価と反省

当日はまず初めに、身近な火災予防の方法や実際の火災状況などについて、南消防署員からわかりやすい説明をしていただいた。

後半は2グループに分かれて、水消火器を使った消火の実技体験と起震車による大規模地震体験を行った。初めて消火器を操作する方もいたが、消防署員の説明を受けて、とまどいながらも目標物に向けて噴水で来ていた。また起震車体験では、身体を支えるだけでも大変な大きな揺れに驚いていた。

座学だけでなく実技体験を加えたので、参加者同士の交流もあり。和やかな雰囲気の中でも集中して真剣に取り組んでいる姿が印象的であった。今後も機会があればこのような講習会を実施していきたい。



水消火器を使った消火体験の様子



起震車による地震体験の様子

暮らしの学びあい講座「花と緑の講座」担当：石田

(1) ねらい

- ①地域の方々の交流を通じて環境について考え、各町の花づくりに役立てる。
- ②地域づくり推進協議会等と協力して、住民が自ら地域づくりに参画できる一助とする。

(2) 対象等

対象：下川淵地区住民

周知方法：公民館報掲載、地区内チラシ回覧

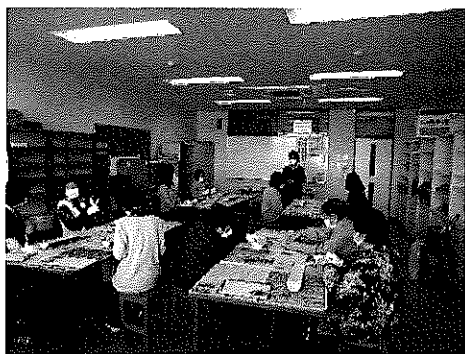
(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
1	2/27 (月) ① 9:30～10:30 ② 11:00～12:00	・竹の鉢を使った多肉植物の寄せ植え ・花と緑を通じて、地域の人同士のつながりを深める ※下川淵地区地域づくり推進協議会および花結びの会と共催で行うもの	講義・実習	花結びの会 持田 みね子	

(4) 評価と反省

今回は竹の鉢を使った多肉植物の寄せ植えのため、毎回参加していただいている方にも、新鮮な体験学習になった。講師は花結びの会の代表であり、参加者とも知り合いの方が多くみなさん和気あいあいと楽しみながら、寄せ植えをしていた。

講師からの説明によると、多肉植物はこまめな水やりなどの手入れが必要無く、育てるのが簡単な植物とのことであるので、私も育ててみたいと思った。



講師の説明を真剣に聞く参加者



作品とともに記念写真

下川淵いきいき生活講座 担当:金井

(1) ねらい

- ①長寿社会へ楽しく生きがいのある生活を送るためのきっかけづくり。
- ②地域社会での仲間づくりの場、世代間交流のヒントや積極的に地域活動に参画できる手がかりとする。
- ③地域の伝承や年中行事の学習と継承

(2) 対象:地区在住の60歳以上の方と受講希望者

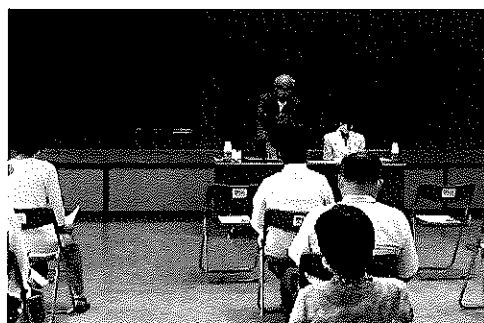
(第3回のみ地区老人クラブ連合会理事)

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	8/3(水) 9:30~11:00	学び講座 「下川淵の伝承民話が教えてくれたもの」	講義	酒井 正保 高木百合子	22
2	10/7(金) 10:00~11:30	マイ・タイムライン作成講座	講義	まえばし出前講座 防災危機管理課	15
3	12/2(金) 10:00~11:30	しめ縄作り講習会	実習	地域協力者	13
4	12/17(土) 10:00~11:30	しめ縄作り教室	実習	地域協力者 地区老連役員	26

(4) 評価と反省

新型コロナウイルスの影響で昨年度に開催ができていなかった酒井先生の講座が再開でき、また同様に、しめ縄作り教室についても一般参加者向けの開催が2年ぶりにできた。どちらも予想を超えた多くの申し込みがあり、地域住民が積極的に学びを得られる機会となった。また、浸水災害が想定される地域であることから、住民の関心が高い防災に関する講座を開催した。各町の公民館でも、同時期に同じ講座を開催していたことから参加者数は低く目に落ち着いたが、その分ひとりひとりの対応ができ、有事に命を守る行動を促すことにつながると感じた。



人権 担当:金井

児童・生徒の人権教育に係る標語の活用

(1) ねらい

人権意識の向上と啓発

(2) 対象等

下川淵地区在住者等

(3) 内容

地区内の小中学校の児童と生徒が発表した標語を12月の国の「障がい者週間」及び「人権週間」を考慮し、1月号から3月号の公民館報に掲載する。

- 1月1日号 下川淵小学校 6作品 第七中学校 6作品
- 2月1日号 下川淵小学校 6作品 第七中学校 6作品
- 3月1日号 下川淵小学校 7作品 第七中学校 6作品

(4) 評価と反省

地区内の小中学校の協力が得られ、公民館報を活用し、人権について考える場を提供した。公民館報は毎戸配布しており、人権に対する関心を高めるための必要な手段として、次年度も継続して実施をすることといたしたい。

6 情報提供事業 担当:渡根木・塚越

(1)「館報下川淵」の発行

- ①下川淵地区全世帯及び関係機関等に配布し、住民に必要な各種情報を提供している。
- ②A3判両面刷りで毎戸配布(3,756部/月)。
- ③公民館事業の紹介、前橋市からの情報、各種団体事業の紹介などを掲載し、毎月1日発行、特別号(文化祭)発行している。

(2) ホームページを活用した情報提供の充実

最新の情報を提供するため、ホームページの更新(必要に応じて随時更新)を行っている。

(3)「下川淵アイアイ」の発行

- ①毎月1日発行(平成14年5月創刊)。
- ②A3判両面カラー刷りで毎戸配布(3,756部/月)
- ③発行:「下川淵アイアイ編集委員会」発行責任者:自治会連合会長

下川淵地区の「自治会連合会だより」「青健だより」「社協だより」を統合し、各種団体や下川淵小・七中の事業の紹介、地域の話題などを掲載。公民館が事務局となり、月1回編集会議を開催。編集委員は各種団体から選任され、記事作成を行う。